

# 令和4年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 総合的な学習の時間

## 改善の重点

- ① 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力を育成するのか明確にすること。
- ② 総合的な学習の時間と各教科等との積極的な関連を図りつつ、探究的な学習の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）が発展的に繰り返されるようにすること。
- ③ ICTの特性や強みを踏まえ、探究的な学習の各過程における学習の質を高めるよう、1人1台端末の積極的な活用を進めること。

## 1 設定理由

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すものであり、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるものである。各学校は、総合的な学習の時間での取組を通して、どのような資質・能力を育成するのか明確にし、その実現を図る必要がある。

資質・能力の育成に向けては、探究的な学習の過程を充実させ、その質を一層高めることが重要である。さらに、探究的な学習の過程においては、異なる多様な他者と協働して取り組む学習活動とすること、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や、生徒の興味・関心に基づく学習を行うなど、創意工夫を生かした教育活動を行うことが求められる。

GIGA スクール構想により1人1台端末が導入され、その活用促進が期待されている。総合的な学習の時間においては、探究的な学習の特質を踏まえ、資質・能力の育成に向けて効果が上がるように、より一層計画的に取り入れることが重要である。

学習評価については、日々の授業の中で生徒の学習状況を適宜把握し指導の改善に生かすことに重点を置くことが大切である。総合的な学習の時間においても、「指導と評価の計画」を作成し、観点別の学習状況について評価する時期や場面を精選することが求められる。

### 総合的な学習の時間の指導においてICTを活用する際のポイント

#### 学習指導要領との関連（小学校学習指導要領 第5章 第3の2(3)）

**探究的な学習の過程**においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるように工夫すること。その際、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮すること。  
(下線は小学校のみ)

#### 探究的な学習の各過程における学習の質を高めるICT活用のポイント

- ①課題の設定…実社会の問題状況に関わる課題、グローバルな課題、ローカルな課題、情報の蓄積による個に応じた課題設定が可能
- ②情報の収集…多様・多量な情報、最新の情報、加工しやすい情報を、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能（文献検索、ネット検索、インタビュー録画、アンケート、実験等）
- ③整理・分析…デジタルデータを検索、分析するなどして情報を再構成したり、プログラミング的思考を育成したりすることが可能（統計による分析、思考ツール、テキストマイニング等）
- ④まとめ・表現…校内のみならず、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能（プレゼンテーション、ポスターセッション等の多様な表現）

## 2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 総合的な学習の時間においてどのような資質・能力の育成を目指すのか、単元の目標や評価規準において具体的に設定すること。
- ② 各教科等で身に付けた資質・能力を現実の生活に関わる学習において活用・発揮することが期待されていることを踏まえ、各教科等との関連を明記した単元配列表の作成や活用の在り方を工夫すること。
- ③ 探究的な学習の各過程における学習の質を一層高めるため、1人1台端末を積極的に活用すること。

(2) 参考とすべき資料

- ① StuDX Style（文部科学省：<https://www.mext.go.jp/studxstyle/index2.html>）
- ② 「早わかり！単元計画の作成手順」（<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2101018.pdf>）
- ③ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所 令和2年6月）
- ④ 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（文部科学省 令和3年3月）